

平成29年度 事業報告書

大慈学童クラブ

1. <基本方針>

- ①児童福祉法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき児童の人権を尊重する
- ②共同で行動することを通して、生活習慣、人間関係、思いやり等が身につくように援助する

2. <大慈学童クラブにおける中長期ビジョン>

地域福祉の一環として、地域のニーズに応え、利用者が安心して利用出来るサービスを提供する。また各利用者が集団生活を通し、思いやりの心と考える力を育める様、努める

3. <目標>

- ①利用者のニーズを把握し、ニーズに沿ったサービスを提供する。

今年度も定額制での延長保育受け入れや、長期休み時の昼食会の回数を増やす等、保護者のニーズに沿ったサービスを提供した。新年度当初は特に新1年生の保護者より、児童の様子（他児との関係や輪の中に入れてくれているか等）についての問い合わせがあり、その都度、安心して預けてもらえる様、対応した。

- ②リスクマネジメントに基づき、リスクの軽減を図る。

会議だけではなく、環境面において緊急性が高い場合はその都度、リスクの軽減に努めた。また、環境面とは別に、保育中に子ども同士による事故（病院受診）もある為、各職員がリスクマネジメントに高い意識を持ち、保育する様に努めた。

- ③職員の資質の向上。

保育スキルだけではなく、保護者への対応も求められるようになってきている為、今年度も外部講師に来て頂き、コーチング研修を2ヶ月に1度、全職員で受けた。その研修では主に傾聴について学び、同じ研修を全職員が受け、意見等を交わす事で、価値観の共有化も図った。

4. <利用人数>

初日在籍数（人）

学年 月	1年	2年	3年	合計	学年 月	1年	2年	3年	合計
4	13	14	12	39	10	13	13	8	34
5	13	14	12	39	11	13	13	8	34
6	13	13	11	37	12	13	13	7	33
7	13	13	11	37	1	13	13	7	33
8	13	14	11	38	2	13	13	7	33
9	13	13	9	35	3	13	13	7	33

5. <広報>

保護者、各区役所、神戸市役所こども企画育成部に、学童新聞を発行した。新聞の内容に生活情報や豆知識等、暮らしに役立つものを加え、内容の充実を図った。

6. <行事内容>

月	日	行 事	月	日	行 事
4	10	昼食会	9	1	昼食会
	11	花見		15	のびっ慈 day (オリジナル定規作り)
	12	昼食会	16	昼食会	
	14	のびっ慈 day (しゃぼん玉遊び)	10	3	グループワーク (神戸青少年科学館)
5	8	のびっ慈 day (スーパーボール作り)		13	のびっ慈 day (おやつ作り)
	13	昼食会		14	昼食会
6	27	昼食会	28	昼食会	
	5	グループワーク (王子動物園)	11	4	昼食会
	10	昼食会		6	グループワーク (須磨離宮公園)
	19	グループワーク (明石公園)		18	昼食会
	24	昼食会		21	のびっ慈 day (箱迷路作り)
26	のびっ慈 day (オリジナル下敷き作り)	27		グループワーク (カップヌードルミ ュージウム大阪 池田)	
7	3~8	個別懇談会 (希望者対象)	12	4~9	個別懇談会 (希望者対象)
	21	昼食会		9	昼食会
	25	昼食会		25	クリスマス会
	26	昼食会		26	のびっ慈 day (スタンプ・年賀状作り)
	28	ボランティア (マジックショー)		27	昼食会
	31	のびっ慈 day (中央体育館)		1	9
8	1	のびっ慈 day (水遊び) スイカ割り	26		のびっ慈 day (鬼の面作り)
	2	昼食会	27		昼食会
	3	リアル板宿スイミング	2	2	節分 (まめまき)
	4	サイバー講習会		10	昼食会
	7	スイカ割り		23	のびっ慈 day (デコチョコ作り)
	8	交通安全教室		24	昼食会
	9	昼食会	3	2	ひな祭り (雛壇を飾る)
	10	リアル板宿スイミング		20	昼食会
	16	運動遊び (中央体育館)		22	お別れ会
	17	ボランティア (フェルト遊び)		23	昼食会
	18	昼食会		26	のびっ慈 day (ピクニック・おやつ作り)
	21	昼食会		27	昼食会
	22	東川崎自治会 (映画会招待)			
	22	昼食会			
23	地藏盆				
24	リアル板宿スイミング				
25	アンガーマネジメント勉強会				
28	昼食会				
29	のびっ慈 day (水遊び・ゼリー作り)				
30	ボランティア (昔遊び)				
31	屋台村				

7. <<保健衛生>>

- ・エアコンのクリーニング、廊下清掃を業者に依頼し、実施した
- ・毎日（日、祝日、年末年始は除く）、床のモップがけを行った
- ・毎週金曜日（祝日、年末年始除く）、大掃除を行った
- ・害虫駆除を行った

8. 《消防避難訓練》

- ・4～5月、8～10月、11～1月、3月、実施。（左記の月以外は夜間想定 of 訓練を行った為、学童では実施せず）
- ・10月（不審者訓練）、11月（地震訓練→津波を想定し、大倉山公園まで避難）を同時に実施した。

9. 《会議》

学童委員会（月1回）

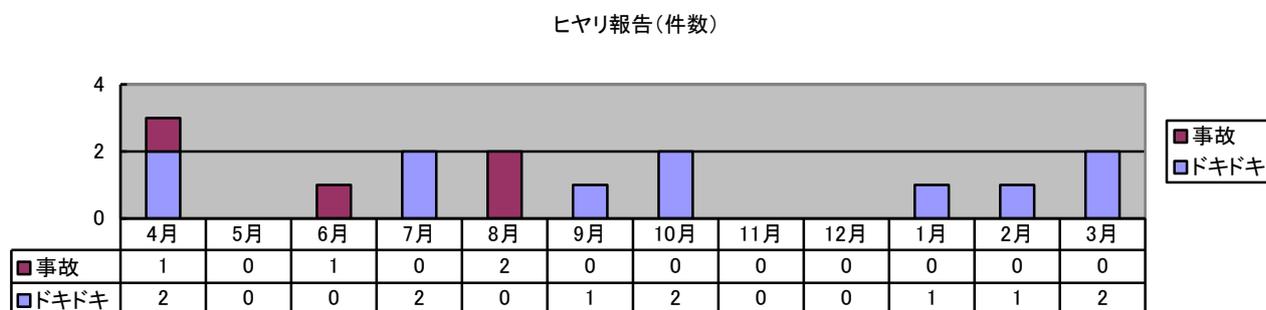
→学童委員長を中心に保護者への対応、特別に配慮が必要な児童、環境面の事、行事の内容等を議題に挙げ、話し合いをした。

10. 《地域貢献》

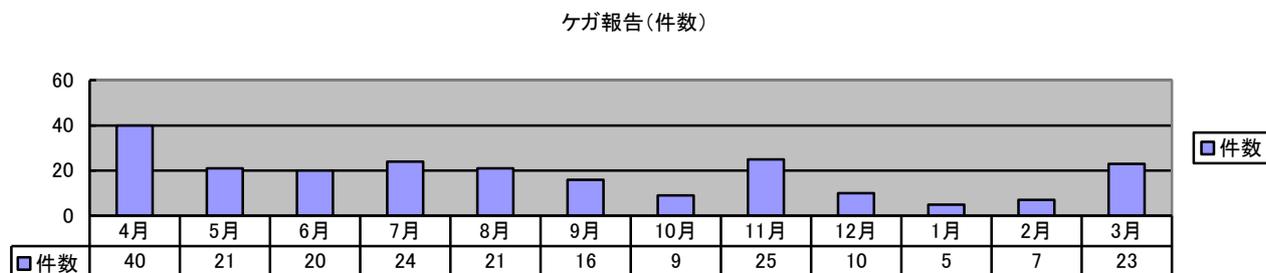
- ・延長保育の時間外受け入れ（19時～21時）
→25件、保護者より要望があり、預かりを行った。今後も地域のニーズとしてある為、実施していきたい。

11. 《リスクマネジメント報告》

①29年度ヒヤリハット報告件数・・・11件（28年度12件）



②29年度ヒヤリハット以外のケガ報告件数（ケガノート）・・・221件（28年度183件）

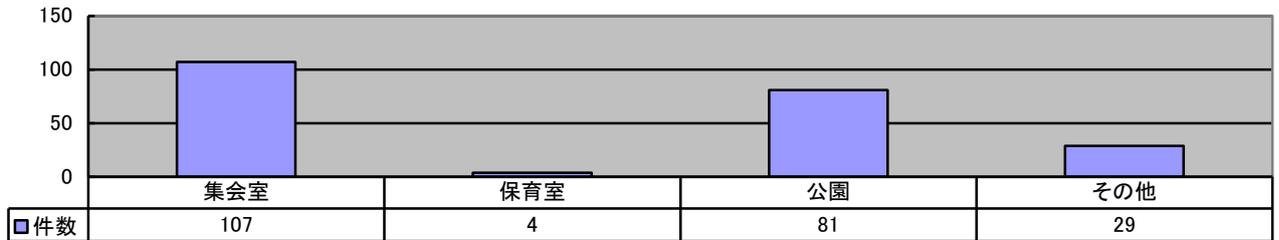


③発生場所

ヒヤリ報告(場所)



ケガ報告(場所)

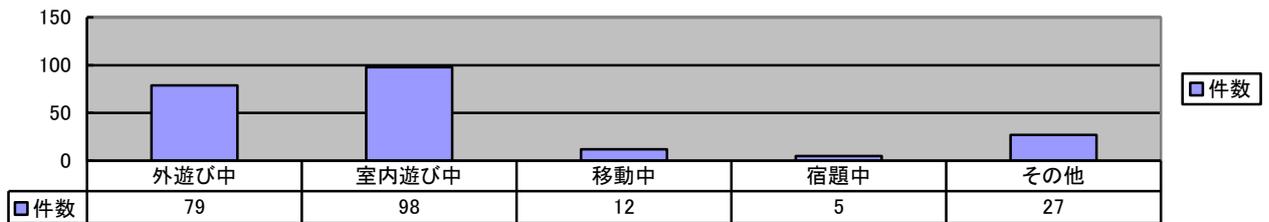


④発生状況

ヒヤリ報告(状況)

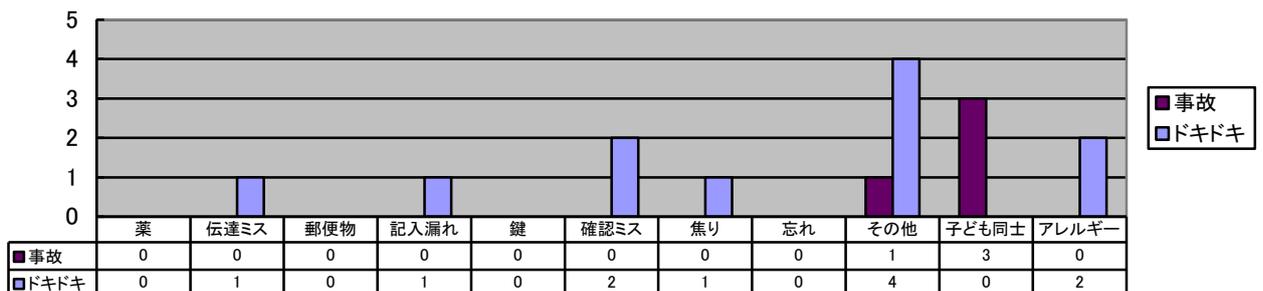


ケガ報告(状況)



⑤発生内容

ヒヤリ報告(内容)

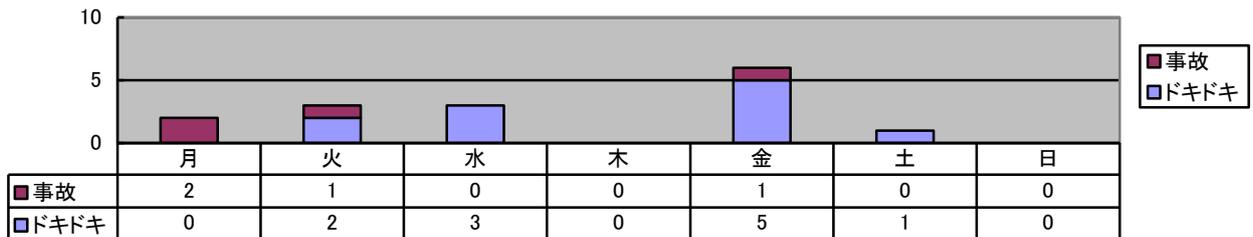


ケガ報告(内容)



⑥発生曜日

ヒヤリ報告(曜日)



⑦発生時間帯

ヒヤリ報告(時間)



⑧まとめ

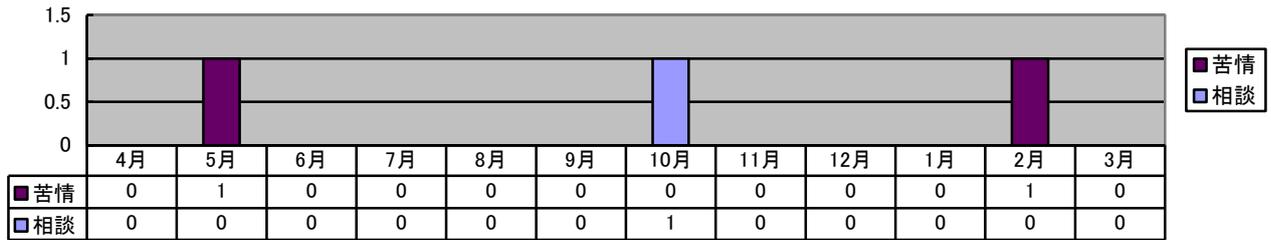
ヒヤリ→日曜日は開所していない為、件数はゼロだった。時間帯別では長期休み以外、13～17時にかけて多くの児童が利用する為、件数が多い。内容としては児童への対応（送り出し、昼食提供、アレルギー対応等）があり、確認ミスが原因として考えられる。その都度、確認方法について話し合い、貼り紙を貼る等、同じミスが起きない様、対策をした。

ケガ報告→遊び中に転んだり等の不慮の怪我が殆どであるが、子どもたち同士による怪我也増えたので、会議等を通し、どういった配慮が必要なのか話し合い、気をつけて保育する様にした。

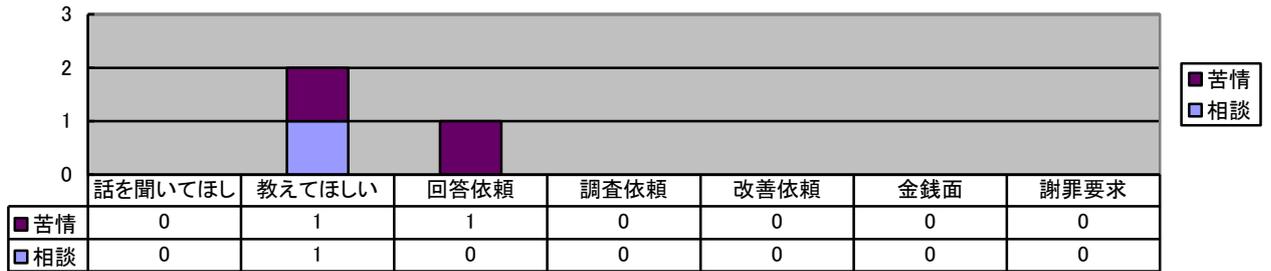
1.2. ≪苦情・相談結果報告≫ 苦情の定義→施設長が状況を見て、苦情か相談かを判断する。

○報告件数…苦情2件、相談1件

苦情・相談報告(件数)



苦情・相談報告(要望)



○主な内容

相談→学童での他児との関係

苦情→職員の対応

○まとめ

苦情は職員の対応が2件で、気を配り保育をしていると防ぐ事の出来る内容だった。一つの対応が信頼を失う事にもなるので、児童、保護者に対し、丁寧な対応を心掛ける様、会議を通して話をした。

1 3. 《総括》

29年度の入会の抽選では、入会希望者約32名の内、面積等の関係から1年生13名、2年生2名のみ受け入れを行った。年々、利用希望者が増え、地域福祉として学童のニーズが高まっているが、受け入れだけではなく、児童と保護者に安心して利用してもらえる学童保育にしていきたい。その為には、職員一人ひとりの資質、保育力の向上が必要な為、会議、研修等を通して、スキルアップに努めていきたい。